

平成 23 年度 事務事業事後評価調書 (平成 22 年度事業)

整理番号 5 - 54

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		地域人権啓発活動活性化事業				
評価者	担当課名	保健福祉課		担当係名	社会福祉係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	淡路至尊		氏名	渡部憲一
事業の概要		地域住民に人権問題に対する正しい認識を広めるため、基本的人権と人権尊重思想の普及高揚に努めながら、住民に親しみやすく、地域に密着した様々な人権啓発活動事業を実施した。			全体計画 / 単年度のみ (平成 年度 ~ 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円	
実施方法		直営	民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け		政策目標	2 めぐもり・雄武 ~ 保健・医療・福祉の充実 ~			
		基本施策	10 地域福祉の推進			
		単位施策	1 福祉意識の醸成			
		事務事業の種類	自治事務	法定受託事務		
		その他計画・根拠等	地域人権啓発活性化事業			
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	1,000 千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	5 千円	千円	千円
	合計	千円	千円	1,005 千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	人権擁護思想の普及高揚及び人権問題に対する認識と理解度。	啓蒙活動事業数	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	児童等の情操を豊かにし、命の大切さや相手への思いやりというような人権思想に対する理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうべく、人権思想の啓蒙と啓発を実施した。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
		啓蒙活動事業数	目標年度 22年度
			目標値 7 事業
			実績値 7 事業
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果=目的	命の大切さや相手への思いやりというような人権思想に対する理解を深め、豊かな人権感覚が身に付き、啓蒙思想の普及と差別のない明るいまちづくりを実現する。		達成度 100.0 %
			目標年度
			目標値
			実績値
			達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)			
啓発物品の購入	花苗、給食衣、図書、スクールバスへのPRステッカー、啓発横断幕、その他啓発物品を購入し、各学校へ配布を通じて啓蒙・啓発活動を実施した。		

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	人権擁護委員・法務局・町が一体となり、町民へ啓蒙活動や人権啓発事業を広く行い、町民が人権の知識や見識を身に付けていただくためには、今後も関係機関と連携を取り、啓蒙・啓発活動への協力を行っていく必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要 / 概ね必要 / 課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	幅広い町民が人権の知識や見識を身に付けることができた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	
有効 / 概ね有効 / 課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	北海道の委託事業であるため、適当と判断できる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	
効率的 / 概ね効率的 / 課題あり		

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	児童等を含め、幅広い町民に対して啓蒙・啓発活動を行っているので公平性がある。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	
公平 / 概ね公平 / 公平でない		

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
町民に親しみ易い、地域に密着した多様な人権啓発活動を展開することで、人権尊重思想の普及高揚が図られた。	同 左	

 今後の展開方向 (Action)	終了	終了	
	北海道の委託事業であるため、終了となるが、様々な人権啓発活動を実施して人権尊重思想の普及高揚を図る観点では、一定の成果があった。	同 左	
*展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止			

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--